

平成25年度 財政状況資料集

総括表 (市町村)

都道府県名	新潟県		市町村類型	II-1	指定団体等の指定状況		区分		平成25年度(千円)		平成24年度(千円)		区分		平成25年度(千円・%)	平成24年度(千円・%)				
					財政健全化等	×	歳入総額	42,681,909	43,585,609	実質収支比率	11.1	7.5								
市町村名	十日町市		地方交付税種地	1-2	財源超過	×	歳出総額	39,257,611	40,933,432	歳常収支比率	90.9	92.1			(97.2)	(98.5)				
					首都	×	歳入歳出差引	3,424,298	2,652,177	(※1)										
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	1,111,591	1,102,981	標準財政規模							20,855,038	20,608,966		
					中部	×	実質収支	2,312,707	1,549,196	財政力指数							0.38	0.38		
人口	22年国調(人)	58,911	産業構造(※5)		過疎	○	単年度収支	763,511	486,075	公債費負担比率					15.7	17.0				
	17年国調(人)	62,058			山振	○	積立金	630,739	476,322	健全化判断比率										
	増減率(%)	-5.1			低開発	○	積立金取崩し額	-	-	実質赤字比率										
住民基本台帳人口(※6)	26.01.01(人)	57,990	第1次	22年国調	3,722	17年国調	4,642	指数表選定	○	積立金取崩し額	-	-	連結実質赤字比率							
	うち日本人(人)	57,662		12.6	14.0	実質単年度収支	1,520,568	1,045,667	実質公債費比率					13.6	14.6					
	25.03.31(人)	58,470	第2次	9,373	11,567	基準財政収入額	5,756,965	5,667,355	資金不足比率(※4)											
	うち日本人(人)	58,146		31.7	34.9	基準財政需要額	15,252,507	15,145,144	標準税収入額等	7,408,113	7,257,485									
	増減率(%)	-0.8	第3次	16,515	16,929	経常経費充当一般財源等	19,024,314	19,216,026	歳入一般財源等	29,104,954	26,449,570									
	うち日本人(%)	-0.8		55.8	51.1	職員等の状況														
面積(km ²)	589.92				市区町村長	1	1人あたり平均給料月額(百円)	8,332	一般職員等	一般職員	463	1,448,264	3,128	地方債現在高	44,960,054	45,031,421				
人口密度(人/km ²)	100				副市区町村長	1	6,213	うち消防職員	-	-	-	-	うち公的資金	27,568,574	27,713,881					
世帯数(世帯)	18,983				教育長	1	5,927	うち技能労務職員	32	97,952	3,061	債務負担行為額(支出予定額)	888,975	1,057,346	収益事業収入	-	-			
職員等の状況																				
特別職等					議会議長	1	3,920	教育公務員	4	16,352	4,088	臨時職員	-	-	-	-	土地開発基金現在高	280,000	280,000	
					議会副議長	1	3,160	合計	467	1,464,616	3,136	積立金現在高	2,191,171	1,560,432	財政調整基金	2,191,171	1,560,432	減債基金	522,659	522,370
					議会議員	26	3,000	ラスバイレス指数					95.3	その他特定目的基金	8,019,027	9,012,434				
	関係する一部事務組合等一覧																			
	一般会計等の一覧		事業会計の一覧		公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧									
	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名								
	(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計(事業勘定)	(6)	水道事業会計	(7)	簡易水道事業特別会計	(10)	新潟県市町村総合事務組合(一般会計)	(20)	当間高原開発								
		(3)	国民健康保険特別会計(直診勘定)			(8)	下水道事業特別会計	(11)	新潟県市町村総合事務組合(職員退職手当支給事業特別会計)	(21)	(株)オスボック									
		(4)	介護保険特別会計			(9)	松之山温泉配湯事業特別会計	(12)	新潟県市町村総合事務組合(消防団員等公務災害補償事業特別会計)	(22)	(株)まちづくり川西									
		(5)	後期高齢者医療特別会計					(13)	新潟県市町村総合事務組合(消防賞じゅつ金支給事業特別会計)	(23)	中里地域開発(株)					○				
								(14)	新潟県市町村総合事務組合(非常勤職員公務災害補償等事業特別会計)	(24)	(株)なかさと									
								(15)	新潟県市町村総合事務組合(交通災害共済事業特別会計)	(25)	松代総合開発(株)									
								(16)	十日町地域広域事務組合(一般会計)	(26)	十日町市土地開発公社					○				
								(17)	十日町地域広域事務組合(家畜診療所特別会計)	(27)	(財)松之山農業担い手公社									
								(18)	津南地域衛生施設組合	(28)	(有)湯米心まつのやま									
								(19)	魚沼地区障害福祉組合	(29)	(財)十日町地域地場産業振興センター									

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6: 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載している。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)					歳出の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	目的別歳出の状況(単位:千円・%)	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
地方税	6,479,431	15.2	6,346,127	32.4	普通税	6,291,868	97.1	42,526	議会議費	225,043	0.6	-	225,043	
地方譲与税	356,043	0.8	356,043	1.8	法定普通税	6,291,868	97.1	42,526	総務費	4,937,780	12.6	333,729	4,423,325	
利子割交付金	11,625	0.0	11,625	0.1	市町村民税	2,310,636	35.7	42,526	民生費	8,230,530	21.0	454,165	4,587,460	
配当割交付金	17,794	0.0	17,794	0.1	個人均等割	82,251	1.3	-	衛生費	3,019,270	7.7	1,182,359	2,564,889	
株式等譲渡所得割交付金	27,490	0.1	27,490	0.1	所得割	1,833,183	28.3	-	労働費	1,648,440	0.4	-	33,550	
地方消費税交付金	551,507	1.3	551,507	2.8	法人均等割	134,828	2.1	-	農林水産業費	1,647,534	4.2	299,876	838,570	
ゴルフ場利用税交付金	13,416	0.0	13,416	0.1	法人税割	260,374	4.0	42,526	商工費	2,461,587	6.3	319,202	984,301	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	3,234,857	49.9	-	土木費	6,281,192	16.0	2,931,588	3,447,681	
自動車取得税交付金	97,482	0.2	97,482	0.5	うち純固定資産税	3,228,487	49.8	-	消防費	1,137,642	2.9	2,990	1,083,337	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	160,525	2.5	-	教育費	4,786,478	12.2	2,670,122	2,723,788	
地方特例交付金	18,887	0.0	18,887	0.1	市町村たばこ税	585,850	9.0	-	災害復旧費	1,673,511	4.3	-	186,137	
地方交付税	15,084,159	35.3	12,073,856	61.7	釐産税	-	-	-	公債費	4,698,604	12.0	-	4,582,575	
普通交付税	12,073,856	28.3	12,073,856	61.7	特別土地保有税	-	-	-	諸支費	-	-	-	-	
特別交付税	2,002,049	4.7	-	-	法定外普通税	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-	
震災復興特別交付税	1,008,254	2.4	-	-	目的税	187,563	2.9	-	歳出合計	39,257,611	100.0	8,194,031	25,680,656	
(一般財源計)	22,657,834	53.1	19,514,227	99.7	法定目的税	187,563	2.9	-						
交通安全対策特別交付金	9,380	0.0	9,380	0.0	入湯税	54,260	0.8	-						
分担金・負担金	249,775	0.6	-	-	事業所税	-	-	-						
使用料	361,384	0.8	15,193	0.1	都市計画税	133,303	2.1	-						
手数料	167,997	0.4	-	-	水利地益税等	-	-	-						
国庫支出金	5,660,060	13.3	-	-	法定外目的税	-	-	-						
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-						
都道府県支出金	3,309,026	7.8	-	-	合計	6,479,431	100.0	42,526						
財産収入	100,850	0.2	15,521	0.1										
寄附金	124,643	0.3	-	-										
繰入金	1,219,563	2.9	-	-										
繰越金	2,652,177	6.2	-	-										
諸収入	2,052,620	4.8	11,272	0.1										
地方債	4,116,600	9.6	-	-										
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-										
うち臨時財政対策債	1,373,000	3.2	-	-										
歳入合計	42,681,909	100.0	19,565,593	100.0										

区分		平成25年度		平成24年度	
徴収率	現・計	99.3	96.3	99.2	95.4
(%)	年	99.6	97.7	99.3	97.2
		99.0	94.6	99.0	93.3

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	3,763,901	実質収支	214,465
下水道	1,245,226	再差引収支	178,144
簡易水道	365,834	加入世帯数(世帯)	8,681
観光施設	14,845	被保険者数(人)	15,369
上水道	7,346	被保険者	保険税(料)収入額
国民健康保険	434,676	1人当り	国庫支出金
その他	1,695,974		保険給付費

区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	13,133,662	33.5	10,244,435	9,713,799	46.4
人件費	4,425,120	11.3	4,006,568	3,611,177	17.2
うち職員給	2,534,608	6.5	2,159,785	-	-
扶助費	4,009,938	10.2	1,655,292	1,646,365	7.9
公債費	4,698,604	12.0	4,582,575	4,456,257	21.3
元利償還金	4,697,980	12.0	4,581,951	4,455,633	21.3
内 うち元金	4,187,967	10.7	4,072,035	3,945,717	18.8
訳 うち利子	510,013	1.3	509,916	509,916	2.4
一時借入金利子	624	0.0	624	624	0.0
その他の経費	16,256,407	41.4	12,164,979	9,310,515	44.5
物件費	4,528,639	11.5	3,291,801	2,921,112	14.0
維持補修費	2,058,168	5.2	1,765,608	1,344,469	6.4
補助費等	3,373,093	8.6	2,250,576	1,871,655	8.9
うち一部事務組合負担金	1,315,883	3.4	1,278,183	1,202,626	5.7
繰出金	3,756,555	9.6	3,450,267	3,173,279	15.2
積立金	844,286	2.2	776,007	-	-
投資・出資金・貸付金	1,695,666	4.3	630,720	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	9,867,542	25.1	3,271,242	-	-
うち人件費	216,727	0.6	139,075	-	-
普通建設事業費	8,194,031	20.9	3,085,105	-	-
うち補助	4,730,802	12.1	1,198,575	-	-
うち単独	3,357,041	8.6	1,846,342	-	-
災害復旧事業費	1,673,511	4.3	186,137	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	39,257,611	100.0	25,680,656	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

平成25年度 新潟県十日町市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	42,782	39,258	3,424	2,313	1,220	46,490	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
29							

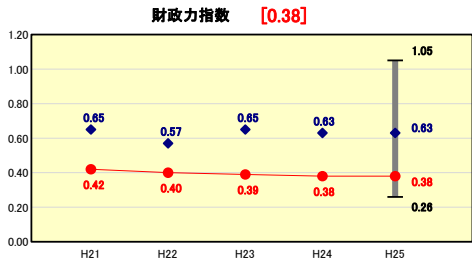
(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	57,990	人(H26.1.1現在)	-	%
うち日本人	57,662	人(H26.1.1現在)	-	%
面積	589.92	km ²		
歳入総額	42,681,909	千円	実質赤字比率	0.0
歳出総額	39,257,611	千円	連続実質赤字比率	0.0
実質収支	2,312,707	千円	実質公債費比率	13.6
標準財政規模	20,855,038	千円	将来負担比率	90.3
地方債現在高	44,960,054	千円	市町村類型	H21 II-O H22 II-O H23 II-1
			(年度毎)	H24 II-1 H25 II-1



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載している。

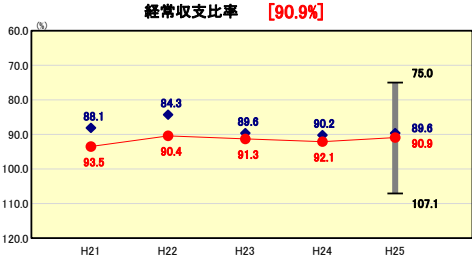
財政力



財政力指数の分析欄

財政力指数は、市町村合併により広域化したことに伴う財政需要の増、景気低迷等による税収の低い水準での推移により類似団体平均を下回っている。今後も税収等の歳入の大幅な増加は見込めないため、投資的経費の抑制や行政コストの見直しを行うとともに、税収以外の歳入の確保に努め財政運営の強化に努めていく。

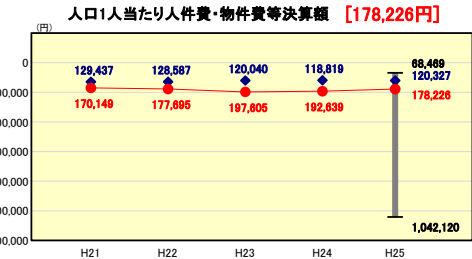
財政構造の弾力性



経常収支比率の分析欄

合併における景気対策や地域振興のため普通会計の投資的事業を積極的に進めたことにより公債費が高まっていることや、豪雪地であるため除排雪経費(維持補修費)が多額となっており、これらが経常収支比率を押し上げる要因となっている。今後も、扶助費などの住民サービスの拡充を図りながら、定員の適正化や物件費等のコスト削減により経常経費の圧縮に努める。

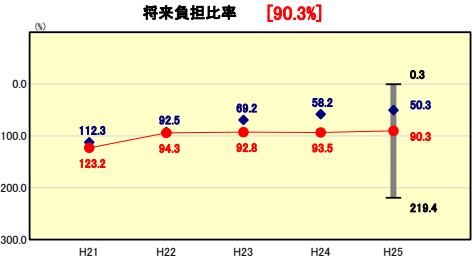
人件費・物件費等の状況



人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

市町村合併による職員数の増加、豪雪地であることによる除排雪経費(維持補修費)が類似団体に比べて高いことから平均を大きく上回っている。降雪量による影響が大きい指標であるが、今後も定員の適正化、事務事業の効率化により人件費・物件費等のコスト抑制に努める。

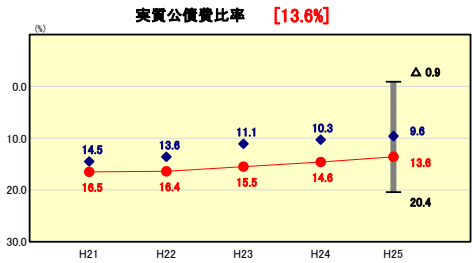
将来負担の状況



将来負担比率の分析欄

勤退退職者の増や新規採用の抑制による退職手当負担見込額の縮減、交付税上の優良債である過疎債等の活用及び既発債の計画的な繰上償還等の実施により将来負担の圧縮に努めていることから減少となった。今後は基金財産の維持や土地開発公社の健全化等も進めることで更なる比率低下に努める。

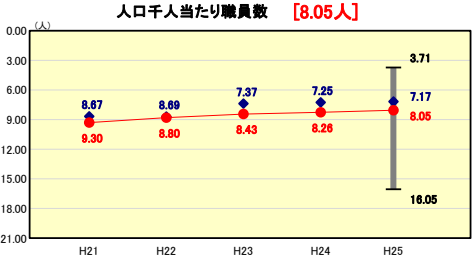
公債費負担の状況



実質公債費比率の分析欄

合併における景気対策や地域振興のために普通会計の投資的事業を進めたことや、広範囲にわたる簡易水道・下水道整備などの生活基盤整備により類似団体の平均を上回っている。今後も投資的事業の伸びや災害復旧事業の影響が予想されるが、交付税上の優良債である過疎債、辺地債、合併特例債の活用及び既発債の計画的な繰上償還の実施により、協議団体となる指標の18%未満で推移する見込みである。

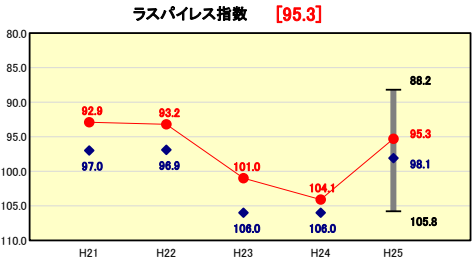
定員管理の状況



人口千人当たり職員数の分析欄

市町村合併による職員数の増加により類似団体の平均を上回っているが、現在、定員管理計画に基づき、新規採用の抑制等により定員の適正化を図っている。今後、平成27年度までに全会計合計で500人体制とする予定であり、この計画の実施により普通会計における職員数も類似団体並みになるものと予測している。

給与水準 (国との比較)



ラスパイレス指数の分析欄

平成18年度、19年度の2年間給与の特例減額(2%)を実施し、平成22年度からは3年間の特例減額(3%)を実施している。また平成25年7月より約平均4%の特例減額を実施している。今後も、類似団体の平均を下回る形で推移するものと考えられる。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成25年度

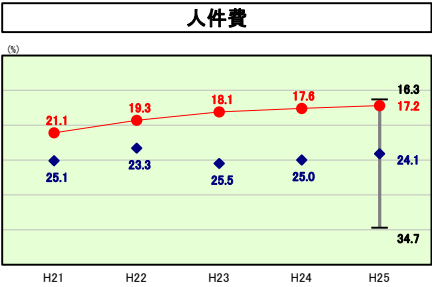
新潟県十日町市

経常収支比率の分析

人口	57,990	人(H26.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	57,662	人(H26.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%
面積	589.92	km ²	実収公債費比率	13.6	%
歳入総額	42,681,909	千円	得茶負担比率	90.3	%
歳出総額	39,257,611	千円	市町村類型	H21 II-O H22 II-O H23 II-1	
実収支	2,312,707	千円	(年度毎)	H24 II-1 H25 II-1	
標準財政規模	20,855,038	千円			



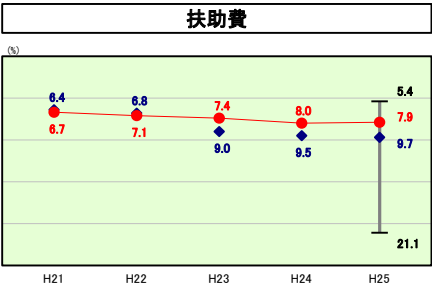
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載している。



類似団体内順位 4/198 全国平均 23.7 新潟県平均 22.3

人件費の分析欄

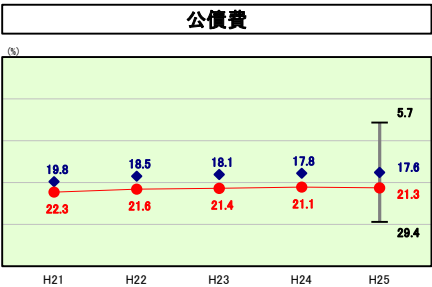
比率では類似団体平均を下回っており、数年にわたる給与の特例減額の実施及び定員適正化の推進による成果と考えられるが、人口1人当たりの人件費決算額は類似団体平均を上回っているため、今後も定員の適正化等により人件費の圧縮に努める。



類似団体内順位 35/198 全国平均 11.3 新潟県平均 8.7

扶助費の分析欄

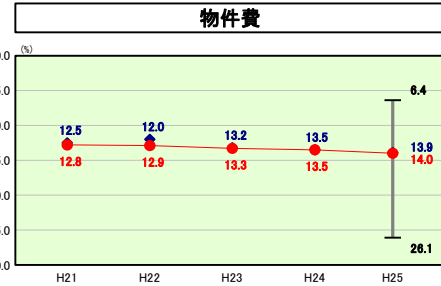
前年度比で0.1ポイントの減少があったが、決算額では子ども医療費助成の拡充をはじめ、高齢化による老人福祉費などによる増加傾向にある。
 事業内容の精査や他の経費の抑制により、今後もサービス水準の維持または向上に努める。



類似団体内順位 169/198 全国平均 18.6 新潟県平均 20.1

公債費の分析欄

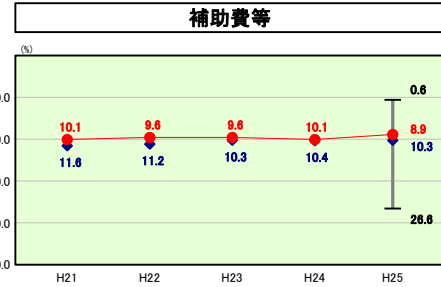
中越大地震以降で重なる災害への対応、市町村合併に伴う需要への対応等により元利償還金が占める比率は類似団体の平均を上回っている。
 現在、長期的な財政計画に基づいた地方債の発行管理や政府資金補償金免除線上償還の活用、その他計画的な線上償還を実施し、地方債残高圧縮による公債費の削減を進めている。また、投資的事業の実施にあたっては、過疎債などの交付税上の優良起債活用による事業推進を図っている。



類似団体内順位 100/198 全国平均 13.7 新潟県平均 13.6

物件費の分析欄

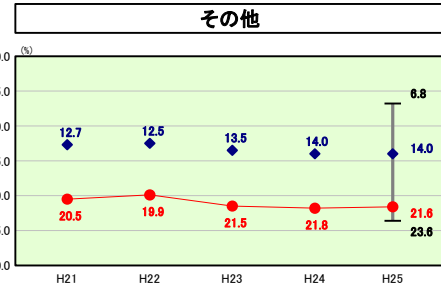
施設の維持管理経費、職員人件費の委託料及び賃金へのシフトなどにより前年度比0.5ポイントの増加があり、類似団体平均を若干上回った。
 物件費の圧縮は難しい情勢であるが、事務事業の見直し化等により物件費コストの抑制を図る。



類似団体内順位 69/198 全国平均 10.0 新潟県平均 9.1

補助費等の分析欄

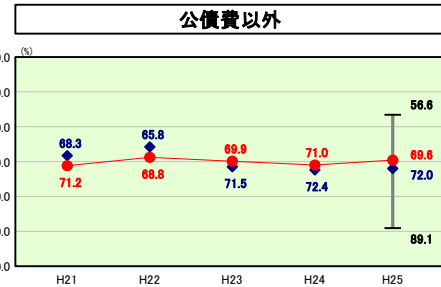
厳しい経済情勢を反映し商工関係経費の補助交付金が増加傾向にあるが、比率では類似団体平均を若干下回っている。
 合併後に補助金見直し検討委員会を組織し補助金全体の見直しを行ったが、新たな補助金等の住民ニーズへの対応も迫られる中、緊急性、必要性に応じた補助金交付により補助費全体の抑制を図る。



類似団体内順位 195/198 全国平均 12.9 新潟県平均 15.9

その他の分析欄

その他に係る経常収支比率が類似団体平均を大きく上回っている。要因としては、当市が豪雪地帯であることによる除排雪経費(維持補修費)、簡易水道や下水道整備などの生活基盤整備を進めてきたことによる公営企業会計への繰出金、高齢化の進行による福祉系への繰出金がそれぞれ多額になっていることが上げられる。今後は、公営企業会計の法適用企業会計への移行や財務体質の改善による経営健全化を進め繰出金の縮減を図る。



類似団体内順位 62/198 全国平均 71.6 新潟県平均 69.6

公債費以外の分析欄

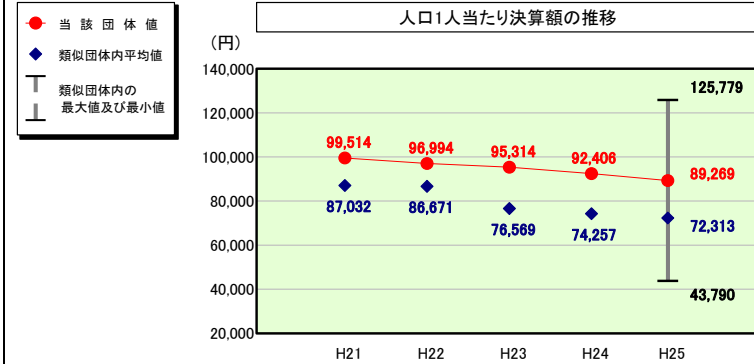
比率では類似団体平均を下回っているが、公債費の占める割合が高いためと考えられる。
 今後も事務事業の見直し等による行政経費の圧縮に努める必要がある。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成25年度

新潟県十日町市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

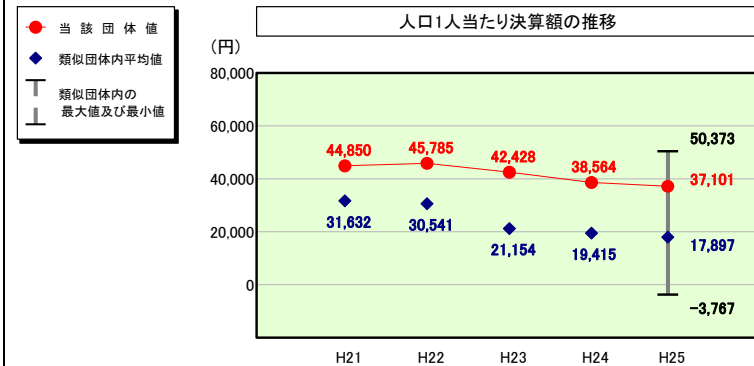
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	4,425,120	76,308	64,737	17.9
賃金(物件費)	490,087	8,451	4,418	91.3
一部事務組合負担金(補助費等)	781,504	13,477	5,597	140.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	1,017	18	967	▲98.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	2	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	155,605	2,683	2,800	▲4.2
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	216,727	3,737	1,482	152.2
▲退職金	▲893,357	▲15,405	▲7,690	100.3
合計	5,176,703	89,269	72,313	23.4

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	8.05	7.17	0.88
ラスパイレズ指数	95.3	98.1	▲2.8

(注) 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載している。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

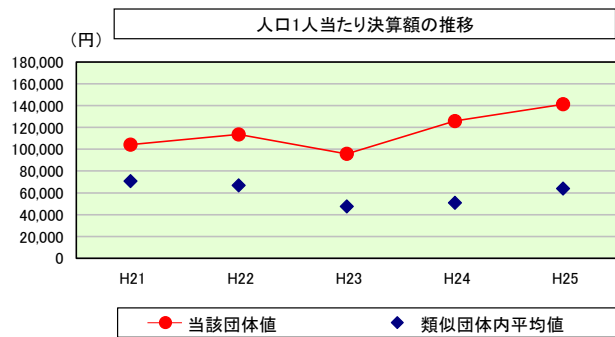


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	4,768,828	82,235	43,357	89.7
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	5	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	3,333	57	40	42.5
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1,241,138	21,403	11,850	80.6
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	173,808	2,997	2,171	38.0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	129,145	2,227	1,425	56.3
- 時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	6	-
▲特定財源の額	▲241,146	▲4,158	▲5,332	▲22.0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲3,923,631	▲67,660	▲35,626	89.9
合計	2,151,475	37,101	17,897	107.3

※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

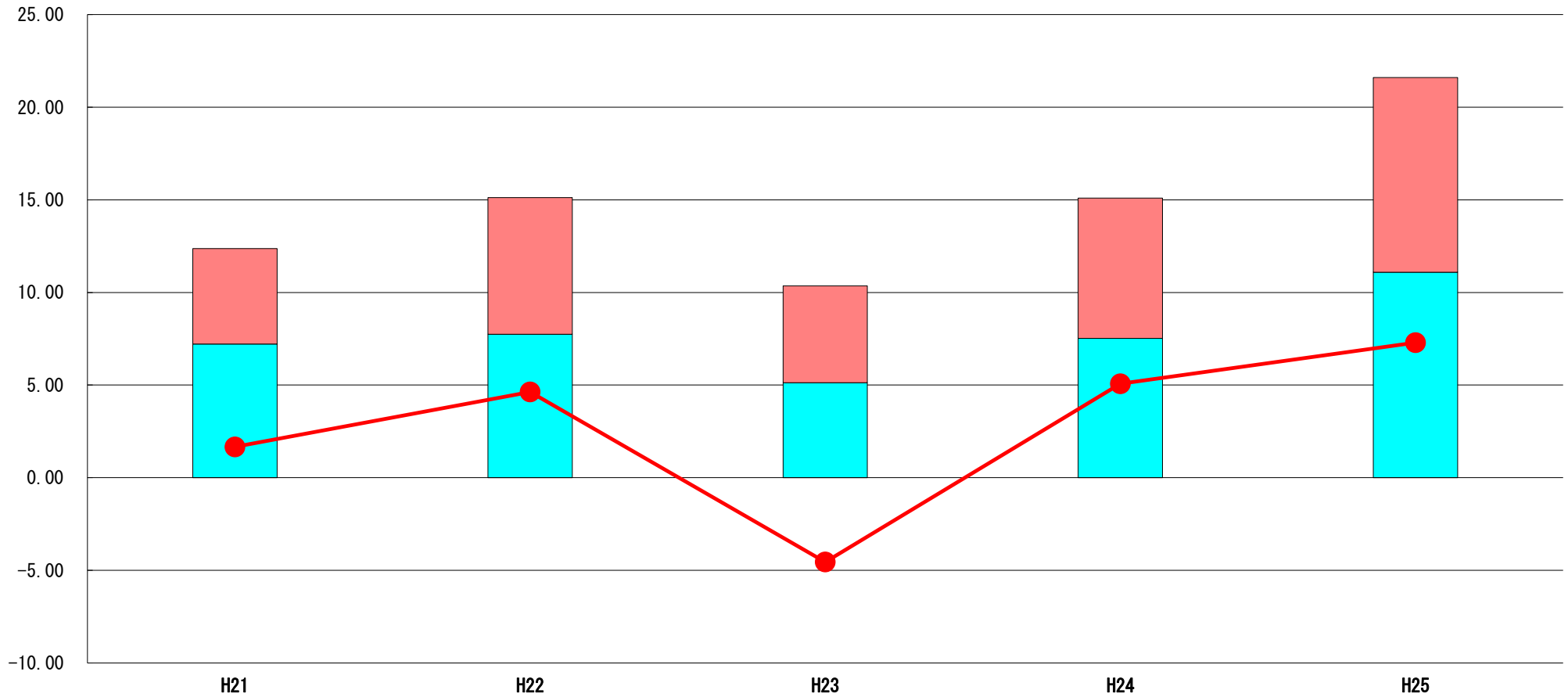
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H21	6,297,276	104,228	47.6	70,789	23.4	24.2
うち単独分	4,124,909	68,273	53.8	40,880	25.2	28.6
H22	6,785,071	113,565	9.0	66,876	▲5.5	14.5
うち単独分	3,896,462	65,217	▲4.5	36,310	▲11.2	6.7
H23	5,648,286	95,829	▲15.6	47,569	▲28.9	13.3
うち単独分	3,102,444	52,636	▲19.3	26,255	▲27.7	8.4
H24	7,356,338	125,814	31.3	50,880	7.0	24.3
うち単独分	4,020,391	68,760	30.6	26,879	2.4	28.2
H25	8,194,031	141,301	12.3	63,956	25.7	▲13.4
うち単独分	3,357,041	57,890	▲15.8	29,239	8.8	▲24.6
過去5年間平均	6,856,200	116,147	16.9	60,014	4.3	12.6
うち単独分	3,700,249	62,555	9.0	31,913	▲0.5	9.5

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成25年度

新潟県十日町市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H21	H22	H23	H24	H25
 財政調整基金残高		5.16	7.38	5.23	7.57	10.51
 実質収支額		7.21	7.74	5.13	7.52	11.09
 実質単年度収支		1.66	4.63	▲ 4.55	5.07	7.29

分析欄

【財調基金残高】
平成25年度は、6億3000千円の積み立てを行った。

【実質収支額】
現年度予算のほか明許繰越予算でも多額の繰越金が発生したため、実質収支比率が上昇した。

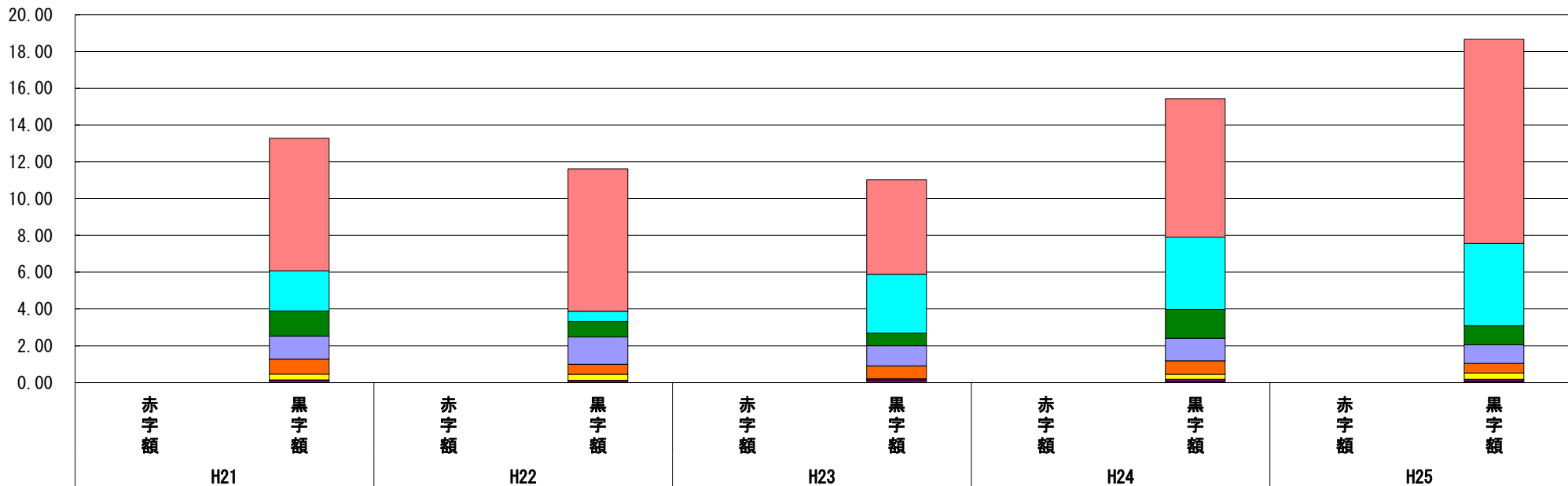
【実質単年度収支】
財政調整基金の積み立てを行ったことによりプラスとなった。今後も起債の繰上償還や基金の積立等を積極的に行っていくことにより財政の健全化を図っていく。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成25年度

新潟県十日町市

標準財政規模比（％）



会計	年度				
	H21	H22	H23	H24	H25
一般会計	7.21	7.74	5.13	7.52	11.09
水道事業会計	2.18	0.55	3.20	3.94	4.48
国民健康保険特別会計（事業勘定）	1.36	0.84	0.69	1.57	1.03
下水道事業特別会計	1.26	1.49	1.09	1.22	1.02
介護保険特別会計	0.81	0.54	0.71	0.73	0.52
簡易水道事業特別会計	0.32	0.33	0.05	0.27	0.34
国民健康保険特別会計（直診勘定）	0.13	0.12	0.14	0.14	0.13
後期高齢者医療特別会計	0.00	0.00	0.01	0.04	0.03
その他会計（赤字）	-	-	-	-	-
その他会計（黒字）	0.01	0.00	0.00	0.00	0.02

分析欄

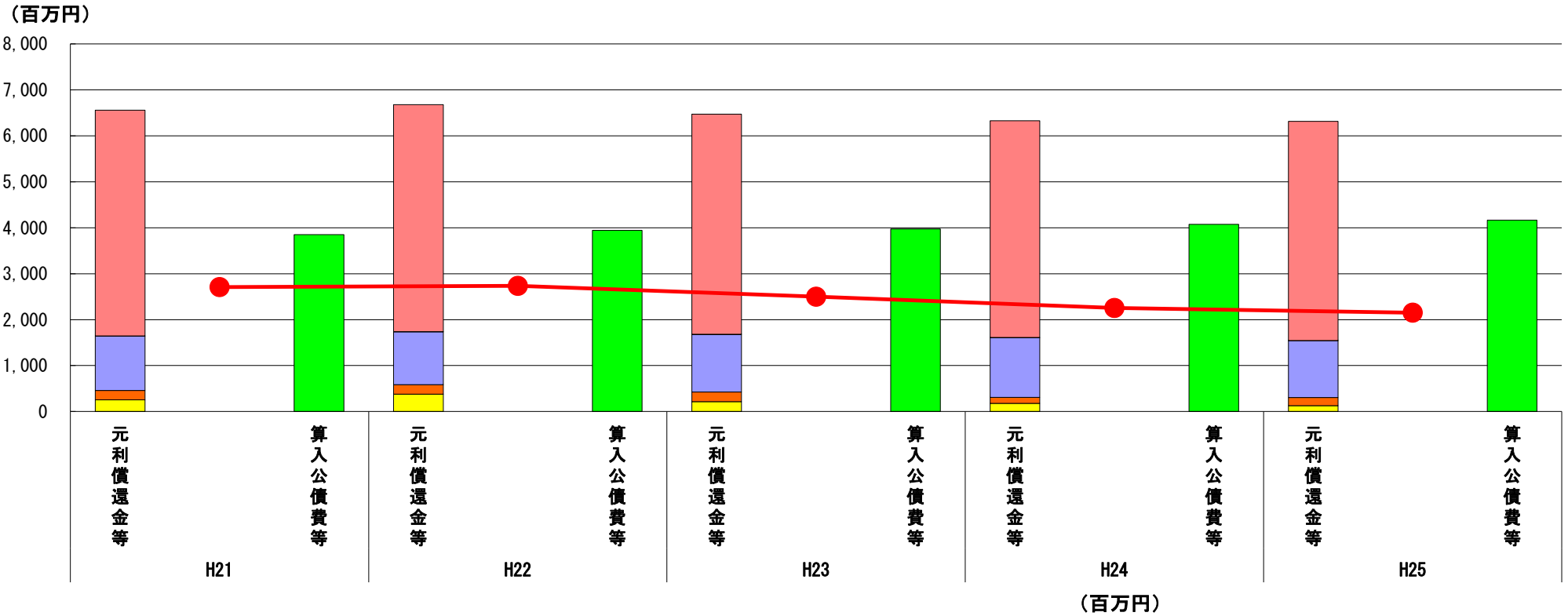
これまで赤字となった会計は無い状況である。
今後も赤字となる会計は予定していない。

※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成25年度

新潟県十日町市



分子の構造		年度	H21	H22	H23	H24	H25
元利償還金等 (A)	元利償還金		4,913	4,941	4,791	4,718	4,769
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		3	3	3	3	3
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,184	1,150	1,254	1,299	1,241
	組合等が起した地方債の元利償還金に対する負担金等		205	207	208	130	174
	債務負担行為に基づく支出額		247	378	216	179	129
	一時借入金の利子		6	-	0	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		3,849	3,944	3,973	4,075	4,164
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		2,709	2,735	2,499	2,254	2,152

分析欄

合併前における景気対策や地域振興のための建設事業を進めたことにより元利償還金は高い水準で推移しているが、過疎債や合併特例債など交付税上の優良債の優先的な活用により、その償還財源への交付税算入額は年々増額している状況にあることから、連動する分母の増額と合わせると、著しく比率が悪化することは想定していない。

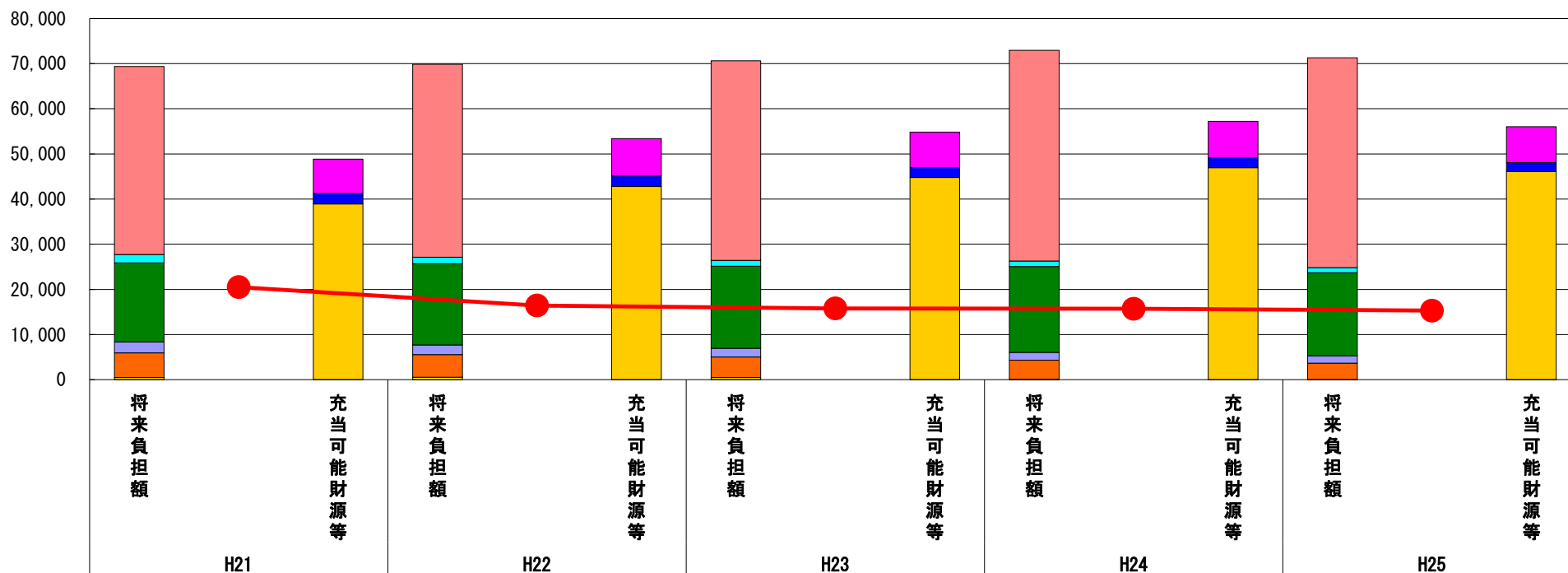
※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成25年度

新潟県十日町市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H21	H22	H23	H24	H25
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		41,644	42,724	44,234	46,644	46,490
	債務負担行為に基づく支出予定額		1,843	1,418	1,285	1,233	1,131
	公営企業債等繰入見込額		17,531	18,000	18,166	19,021	18,368
	組合等負担等見込額		2,424	2,137	1,917	1,694	1,649
	退職手当負担見込額		5,442	5,030	4,568	4,237	3,606
	設立法人等の負債額等負担見込額		477	533	473	96	56
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		7,617	8,279	7,856	8,078	7,928
	充当可能特定歳入		2,304	2,335	2,206	2,186	2,000
	基準財政需要額算入見込額		38,923	42,788	44,783	46,955	46,082
(A) - (B)	将来負担比率の分子		20,517	16,440	15,799	15,707	15,291

分析欄

平成21年度に30億円の寄附を受け基金を造成したことにより充当可能金額が大幅に増加している。平成22年度以降は地方債残高が増加傾向にあるが、基準財政需要額算入見込額も連動して増加すること、職員数の減少に伴い退職手当見込額も減少することなど将来負担比率の分子については減少傾向にある。

※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。